

オンライン先生のための コンテンツ作り

～教育スライドの基礎基本～



 カムイランド

作成者：大野まさひろ（カムイランド代表）

はじめに

ここでは、スライドを作る方法について学習していきます。

特に教育のためにスライドを作る場合は、わかりやすく伝わるスライドを心がけることが大切です。

そのためにスライドのサイズや文字のポイントなど、形式を整えることを学びます。

教育スライドの作成に特化した内容になっています。

もくじ

1 スライドを作る目的 (1)～(3)

2 スライドのフォーム

- ・ スライドの形式
- ・ 文字のサイズ
- ・ フォント
- ・ カラー
- ・ アニメーション

3 その他 工夫すること

1 スライドを作る目的（1）

教育コンテンツで使用するスライドの目的は、教える内容をわかりやすく伝えることです。

教育スライドは、画像と音声による解説が、相互に補い合いながら、受講者にとって理解しやすいスライドになるように作成します。

今回は、スライド作りの形式について解説していきますのでご承知おきください。

1 スライドを作る目的（2）

伝わるスライドとはどんなスライド？



伝わるスライド $\neq$ 凝ったスライド
綺麗なスライド

伝わるスライドは、「凝ったスライド」や
「綺麗なスライド」ではありません。

多くの方は、色彩やアニメーションを多用
するなど、綺麗で凝ったスライドを作ろう
としてしまいます。

1 スライドを作る目的（3）

伝わるスライドとはどんなスライドか？



伝わるスライド = 見やすいスライド
シンプルなスライド

「見やすい」「シンプルな」スライドは、受講者にとって継続して学び続けることができるスライドです。

そして、一枚のスライドで伝える内容は、一つです。

この点をスライド作りの基本として心がけましょう。

2 スライドのフォーム（１）

スライドのフォーム（型）は、事前に決めておき、統一感を持たせることによって、受講者にわかりやすいものになります。

事前に決めておくこと

- ・ スライドのサイズ
- ・ 文字のサイズ
- ・ フォント
- ・ カラー
- ・ アニメーション（使用する場合）

2 スライドのフォーム（2）

スライドのサイズ

教育コンテンツでのスライド作成は、サイズを「ワイド」にして作成します。

理由は、教育コンテンツでは、動画や画像を挿入する場合が多いので、スライドのサイズを「ワイド」にすることによってより見やすくなるからです。

＊ここでは「Microsoft PowerPoint」を使って説明していきます。

2 スライドのフォーム（3）

標準とワイド（画面の横縦比）

標準（4 : 3）

画面が、アナログテレビ・古いP Cモニター・VHS・iPad などタブレットの横縦比です。

ワイド（16 : 9）

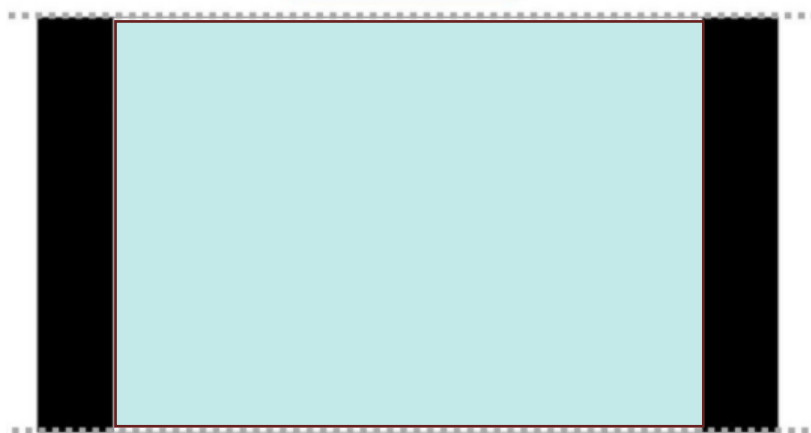
地上波デジタル放送・P Cモニター・DVD の横縦比。

PC モニターのサイズも、かつての4 : 3 から 16 : 9 が主流になってきました。

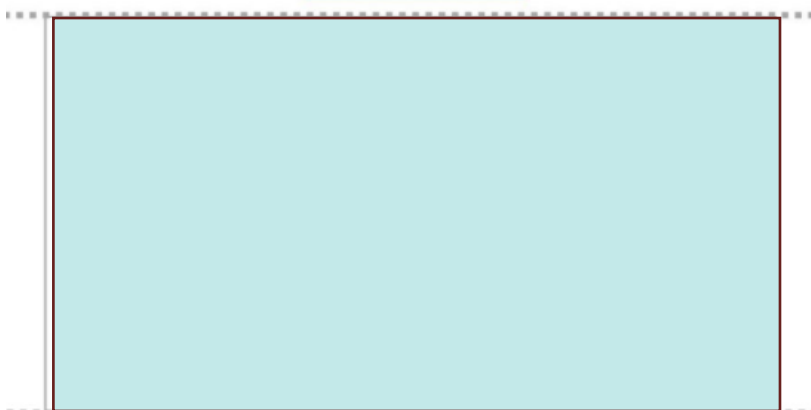
2 スライドのフォーム（4）

標準とワイド（画面の横縦比）

標準（4 : 3）



ワイド（16 : 9）



2 スライドのフォーム（5）

設定の仕方

パワーポイント画面上の「デザイン」から
「スライドのサイズ」に進んで「ワイド」を
選びます。



標準 4 : 3

ワイド 16 : 9

すると、画面が「ワイド」になります。

2 スライドのフォーム（6）

文字のサイズ

基本の文字サイズ = **24～28 ポイント**

理由)

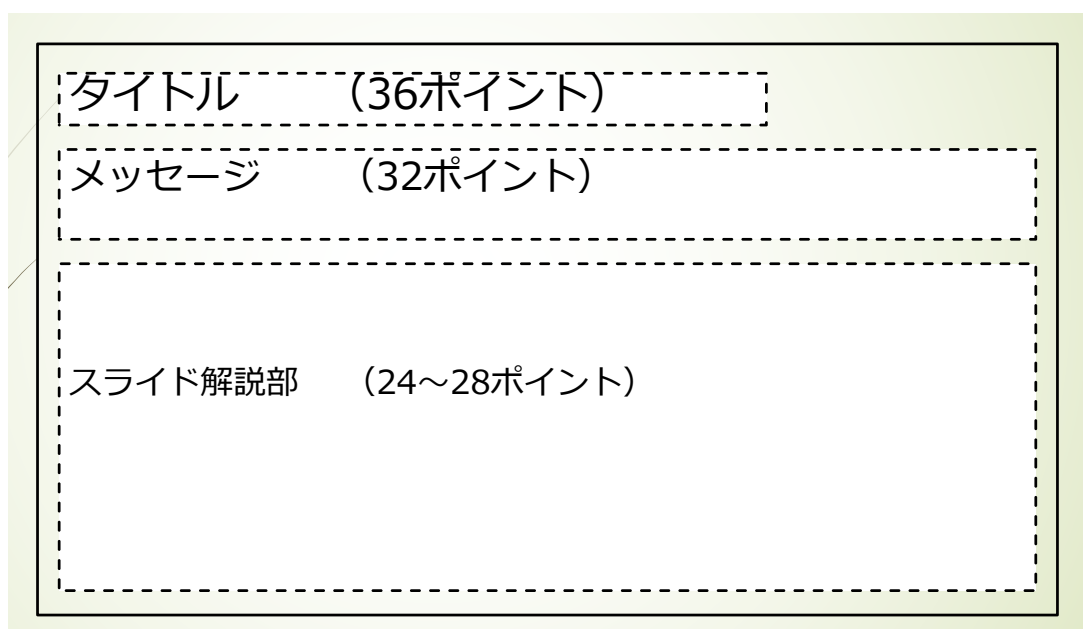
最近では、スマートフォンで視聴する受講者も増えているため、スライド本文（解説部）の文字サイズは 24～28 ポイントくらいが最適です。

* ちなみに、この冊子の文字サイズは、見やすさを考慮して「20 ポイント」を使っています。

2 スライドのフォーム（7）

文字のサイズ（a）

ワイド画面に沿った「横書き」の文字サイズの目安は以下のようになります。

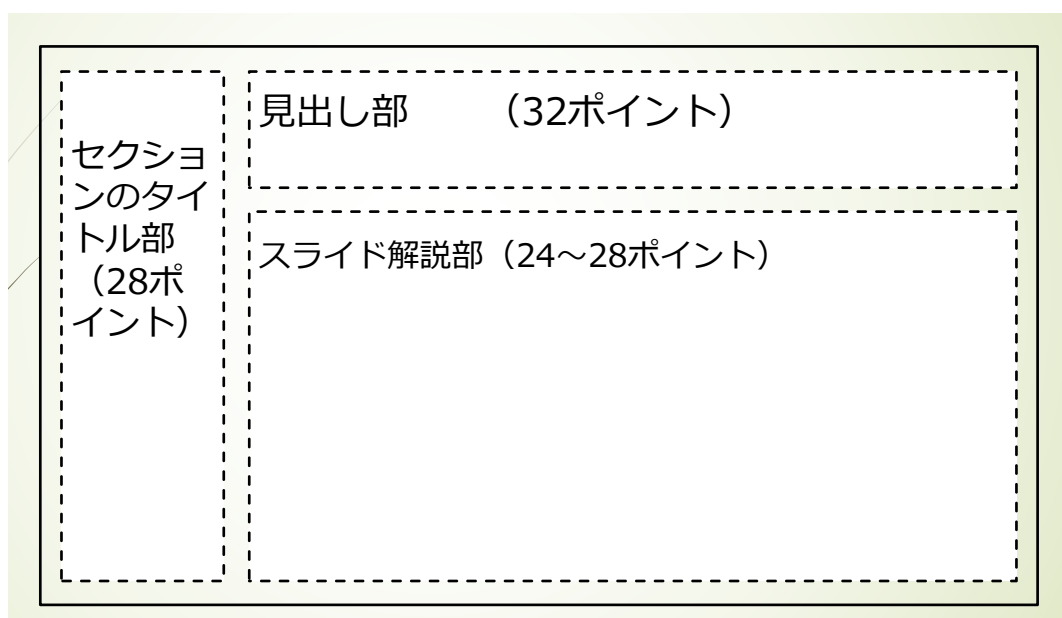


なお、タイトルは、インパクトのある 36 ポイント、小見出しとなるメッセージは、32 ポイントにして、視聴者が一目でわかるように工夫します。

2 スライドのフォーム（7）

文字のサイズ（b）

引き続き、「縦書き」の文字サイズの目安は以下ようになります。



（あくまでも目安なので、これに縛られるものではありません。）

2 スライドのフォーム（8）

フォント

フォント選びで心がけること

読みやすいフォントであること

読みやすさを追究して開発されたフォント
が・・・



メイリオ

「メイリオ」は、教室などでスライドを使って遠くから見る際の「視認性」に優れていると言われています。

2 スライドのフォーム（9）

カラー

基本カラーは、

「黒」と「赤」

理由)

教育のスライドで使う色彩は、目移りせず、
落ち着いた色が適しているからです。

よって、基本的にスライドで使う文字色は、
黒と赤とし、背景色は白を使うのが良いでし
ょう。

2 スライドのフォーム（10）

アニメーション（1）

アニメーション機能とは

PowerPoint のアニメーション機能は、スライドショーとして表示しているプレゼンテーション資料に動きをつける機能のことです。

・・・・・・・・・・・・・・・・

スライドで使う主なアニメーション機能

ワイプ：拭き取るように画面が出現する

フェード：徐々に文字や画像が現れる

2 スライドのフォーム（11）

アニメーション（2）

アニメーションの目的

- 1 受講者の関心を持続させるため**
- 2 伝えたい箇所を強調するため**

*教育スライドでは、この目的に反する場面でアニメーションは使わない方がよいでしょう。

3 その他 工夫すること（1）

オンライン教育において、スライド上の文字ばかり読む授業だと受講者も退屈するものです。また、集中力は、そう長く続くものではありません。

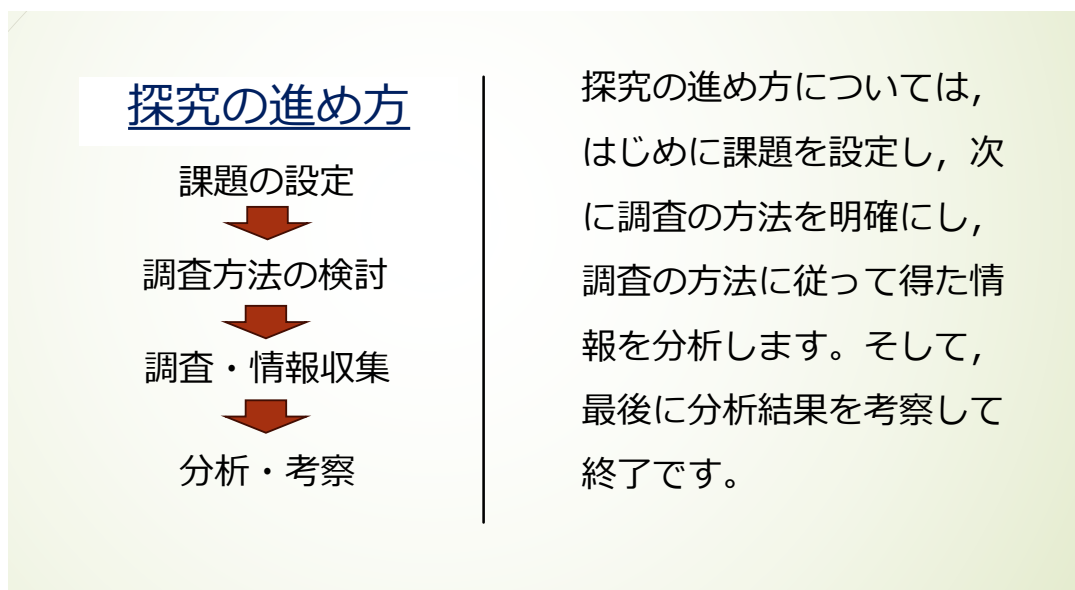
ここでは、受講者に理解を促し、集中力が持続するようにするための方策として、スライド機能の中にある図形やオブジェクトを使う方法を学びます。

3 その他 工夫すること（2）

オブジェクトを織り交ぜて視覚効果をねらう。

(A)

(B)



(A) も (B) も、同じ内容のことを述べています。どちらがわかりやすいですか？

(A) の方が、目を凝らして読む必要もなく、内容が一目でわかります。よって、わかりやすいと言えますね。

おわりに（まとめ）

今回、受講者にとって、わかりやすいスライド作りの方法について解説しました。

オンラインで物事を教える際に、スライド作りのルールを知っておくと、教える内容が変わった時でも対応でき、汎用性が高まります。

まずは、作ってみることが大事です。作りながら受講者にとって、わかりやすいとはどのようなことだろうかと考えることが、スライド作成上達のポイントになるのです。